

報告事項カ

鳥取県立図書館学校図書館支援員の活動状況について

鳥取県立図書館学校図書館支援員の活動状況について、別紙のとおり報告します。

平成27年2月9日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 鳥取県立図書館学校図書館支援員の活動状況について

### 図 書 館

鳥取県立図書館では、今年度から、小中学校課指導主事兼務と高等学校課指導主事兼務の「学校図書館支援員」を2名配置し、学校図書館の「読書センター」機能と、授業活用等「学習・情報センター」機能の充実を図り、児童生徒の主体的な学びの場となるための支援を行っている。

#### 1 小中学校図書館への支援について

- (1) 学校図書館支援員の研修会派遣 (17回、参加者のべ593人)  
市町村教育委員会や教育団体の要望に応じて、学校図書館活用推進の研修会に当館の学校図書館支援員(兼小中学校課指導主事)を派遣し、様々なテーマで研修講師を務めた。



(写真) 学校図書館支援員派遣による研修会

学校図書館支援員派遣を契機に、研修会を行う市町村も多数あった。

##### 《1月までの実施団体》

○市町村教育委員会主催研修会(鳥取市、米子市、境港市、智頭町、湯梨浜町、大山町、伯耆町、江府町、日野町) …アンダーラインの市町村は、公共図書館職員と司書教諭・学校司書による合同研修

○小学校教育研究会(鳥取市、八頭郡、境港市) ○学校司書自主研修会(鳥取市、倉吉市、中部地区)

○県教育センター司書教諭講座

【内容】学校図書館を活用した授業実践例、学校図書館におけるレファレンス、学校図書館活用の授業研究、司書教諭と連携した学校司書の学習支援、探求的な学びを支える学校図書館、短時間でできる調べ学習ワークショップ等

【感想】授業で学校図書館を活用することや、司書教諭と学校司書が具体的にやることがわかった。

学校図書館の研修は、必要だと感じた。今後も教育委員会として研修会を開催したい。

- (2) 児童生徒の学ぶ意欲を育てる講座(東中西部計3回開催、参加者計204名)

司書教諭と学校司書、公共図書館司書の合同研修会を県内3ヵ所で開催した。講義とワークショップにより、学校図書館をさらに活用しようとする意欲あふれる研修会となった。

【内容】「学校図書館から教育を変える！～司書教諭と学校司書は何をすべきか～」

講師 藤田利江氏(大和市教育指導室 学校図書館スーパーバイザー、元司書教諭)

- (3) 調べ学習用図書のセット貸出

学校図書館を活用した学習を支援し、図書の選定に役立ててもらうため、授業活用の多い本を14テーマ6セットずつ購入した。平成26年8月～平成27年1月で93セット(計2,589冊)の利用があった。

#### 2 高等学校・特別支援学校図書館への支援について

- (1) 「高校生鳥取県クイズ～学校図書館で鳥取発見！～」の実施(新規)

県内高校図書館と協力して、高校生が図書館資料を活用して鳥取県に関するクイズを解くイベントを開催し、関連展示を行うなど、生徒の図書館の利用促進を図った。

また、「本が読みたくなるしおり」のデザインを生徒から募集し、158作品の応募の中から、教育委員長賞、教育長賞、図書館長賞に選ばれた3作品をしおりにしてクイズの参加者に配布した。

○実施時期 平成26年10月27日～11月11日

○実施場所 各高等学校・特別支援学校図書館

○参加者数 1,532名



## (2) 訪問相談事業



当館の学校図書館支援員（兼高等学校課指導主事）と東中西部に配置の係長（司書主任）が全ての高等学校と特別支援学校を訪問し、各学校の教育目標や実態に応じた助言や提案、情報交換等を行った。

訪問相談後、県立図書館の様々な図書を、授業や展示に活用する事例が増えている。

← (写真) 学校訪問相談後、県立図書館から約300冊の貸出を行い、展示に工夫を凝らした「倉吉農業高校図書館」の様子

## (3) 学校図書館司書研修会（年2回開催、参加者計86名）

学校司書の資質向上と学校図書館の利活用を促すため、高等学校司書及び特別支援学校司書を対象とした専門研修を実施した。

【第1回】日時：平成26年8月8日（金）、会場：鳥取県立図書館、参加者：34名

内容：講義「学校訪問相談から見えてくること～実践事例から考える～」など

【第2回】日時：平成26年12月10日（水）、会場：倉吉農業高校、参加者：52名、中学校司書も参加

内容：講義「悩み解決！！もっと使える学校図書館～読書イベントについて～」など

## (4) 図書館セミナー（教職員向け・生徒向け）（計20回、のべ663名）

当館の学校図書館支援員や司書が学校に出向き各校の要望に応じて行う「図書館セミナー」や、県立図書館へ来館された生徒や教員に、「図書館ツアー」や探求学習の支援を行った。教員の授業活用や生徒の図書の貸出増加につながったという成果も出ている。

(写真) 図書館資料を使った探求型学習について「青翔開智高校」→



## 3 成果・課題

- ・ 小中学校対象の研修については、市町村教育長などから「学校図書館・司書教諭・学校司書の大切さや研修の必要性がわかった」などの歓迎の声をいただいている。また、校長、司書教諭、学校司書からも、学校図書館に関する専門的な立場で指導や助言をもらい、学校図書館の活性化につながると好評である。
- ・ 高校・特別支援学校担当の支援員は、一人職場で様々な悩みを抱えている職員に対し効果的なアドバイス等を行い、学校長などから歓迎の声をいただいている。
- ・ 平成27年4月には、学校図書館法改正で学校司書の配置と研修が努力義務となることから、県として、体系的に支援できるしくみを整える必要がある。

## 4 「生きる力を育むとっとり学校図書館活用教育推進事業」（平成27年度予算要求中）

### (1) 事業概要

「鳥取県立図書館が学校教育をバックアップ!!!」

児童生徒の主体的な学ぶ力を育成する学校図書館活用教育を推進するため、鳥取県立図書館に「学校図書館支援センター」を設置し、学校教育をバックアップする。

### (2) 事業内容

#### ア. 「とっとり学校図書館活用教育推進ビジョン」の策定（新規）

検討委員会を設置し、就学前から高校までを見通した学校図書館活用教育推進のための指針を策定し、教育委員会・学校全体で共通理解を図る。

#### イ. 「とっとり学校図書館活用教育ハンドブック」の作成（新規）

学校図書館活用教育を具体的に進めるためのハンドブックを作成し、経験の浅い司書教諭や学校司書も含め、指導力を担保する。

#### ウ. 学校図書館職員スキルアップ研修（継続）

#### エ. 「学校図書館に行こうキャンペーン」の実施（継続）